

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                               |         |              |
|---------|-------------------------------|---------|--------------|
| 事業所番号   | 4071100939                    |         |              |
| 法人名     | 有限会社 めぐみ                      |         |              |
| 事業所名    | グループホーム めぐみ                   |         |              |
| 所在地     | 〒811-1355 福岡県福岡市南区松原1丁目17番16号 |         | 092-554-7633 |
| 自己評価作成日 | 平成26年10月22日                   | 評価結果確定日 | 平成26年12月24日  |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |                                                                                               |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.jp/40/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/40/index.php</a> |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会               |
| 所在地   | 福岡県北九州市小倉北区真鶴2丁目5番27号 093-582-0294 |
| 訪問調査日 | 平成26年11月21日                        |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設というよりも、一般的な家庭の和みを大事にし四季や歳時を大切に優しい雰囲気作りを努めています。利用者さんへの身体的・精神的な支援のため医療機関との連携強化と、災害や地域行事への参加や、介護相談等のため、いつでも・誰でも訪問できるよう開放し地域連携に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホーム「めぐみ」は、福岡市南区の松原運動公園に近い閑静な住宅地に位置し、立派な庭園付きの民家を改装した1ユニットの事業所である。利用者と職員との共同生活の場として、自由でのびのびとした暮らしの中で、セラピー犬も家族の一員として、利用者との距離感も近く、行き届いたケアが行なわれている。食事は、準備から調理まで総て手作りの温かい料理を提供し、職員間のチームワークで手際よく流れるように進んでいる。また、看護師が常勤職員として配置され、利用者の健康管理や急変時に対応し、介護職員と協働で取り組み、利用者の重度化に伴い、家族や主治医、職員との連携が図られ、利用者の健康管理は万全である。現在、屋内の改装工事や庭の有効活用等、より良い介護環境へ向けた取組みが計画され、住宅街の中で、地域住民の信頼を受けて、地域福祉の拠点として存在感のあるホームを目指している。

| . サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)                              |                                                                     | 項目№1～57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します                                |                                                                     |
|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 項 目                                                   | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印                                         | 項 目                                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印                                         |
| 58 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:25.26.27)     | ○ 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 65 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9.10.21)   | ○ 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 59 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:20.40)           | ○ 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 66 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2.22)                     | ○ 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 60 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:40)                 | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 61 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:38.39)   | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 職員は、活き活きと働けている<br>(参考項目:11.12)                                      | ○ 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 62 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:51)                | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 69 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 63 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:32.33)       | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 70 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○ 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 64 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:30) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |                                                                        |                                                                     |

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+) + (Enter) です。〕

| 自己        | 外部 | 項 目                                                                                            | 自己評価                                                             | 外部評価                                                                                                                                               |                   |  |
|-----------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--|
|           |    |                                                                                                | 実践状況                                                             | 実践状況                                                                                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| .理念に基づく運営 |    |                                                                                                |                                                                  |                                                                                                                                                    |                   |  |
| 1         | 1  | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                             | ご近所の方々と交流を図り、利用者さんが安全で安心できるサービスの提供を共有した介護を実践しています。               | グループホームのサービスの内容を掲示し、家庭的で温かなケアの実践を目指し、職員全員が理念を理解し、常に理念を確認しながら、利用者一人ひとりに合わせた介護サービスの提供に取り組んでいる。また、職員は家族との関係を大切にし、利用者の心を開き、利用者と職員の信頼関係を築き、家族の安心に繋げている。 |                   |  |
| 2         | 2  | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                             | 地域でのグループホームについての理解や認識を理解してもらい安全と安心の介護を提供しています。                   | 利用者と職員は、地域の行事や活動に、出来るだけ参加し、グループホームの啓発活動に取り組んでいる。民生委員や地域の世話人と、高齢者や独居老人の情報を交換し、介護相談を受けて、地域に開かれたグループホームとして、地域住民との交流を図っている。                            |                   |  |
| 3         |    | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                           | 推進運営委員会での民生委員・包括センター・後見人(司法書士)による情報交換や支援方法・意見などを介護への参考・評価に努めている。 |                                                                                                                                                    |                   |  |
| 4         | 3  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている        | 上記の他、防災等の呼びかけや町内行事への参加と近隣の高齢者に関する情報交換を得て意見交換をしサービスの向上に生かしている。    | 会議は2ヶ月毎に、民生委員や成年後見人、地域包括支援センター職員が参加し、ホームの運営や取り組み、困難事例や事故等を報告し、参加委員からは、地域の高齢者の状況や、質問、要望等が活発に出され、ホーム運営に反映出来るように取り組んでいる。                              |                   |  |
| 5         | 4  | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                  | 包括支援センターへの訪問や市保護課等との情報交換によるサービスを行っています。                          | 管理者は、困難事例や疑問点等を行政に相談し、市の保護課やケースワーカーとも連携し、情報交換を図っている。また、運営推進会議に地域包括支援センター職員が出席し、ホームの現状と取り組みについて理解した上で、情報や提案をして貰い、協力関係を築いている。                        |                   |  |
| 6         | 5  | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 施設内研修・マニュアル・リスクマネジメント等による身体拘束しないケアを行っています。                       | 身体拘束廃止マニュアルを整備し、内部研修会の中で、職員全員が学び、身体拘束が利用者に及ぼす影響について話し合い、「身体拘束をしない・させない」を合言葉に、具体的な事例や、ニュース情報を検証し、利用者が安心して暮らせるケアの実践に取り組んでいる。                         |                   |  |
| 7         |    | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている        | 虐待防止マニュアル・勉強会等により日常より職員全員が注意を払い、防止しています。                         |                                                                                                                                                    |                   |  |

| 自己 | 外部 | 項目                                                                                                                                 | 自己評価                                                                             | 外部評価                                                                                                                                              |                   |
|----|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |    |                                                                                                                                    | 実践状況                                                                             | 実践状況                                                                                                                                              | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  | 6  | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している                                        | 運営委員会のメンバーに司法書士・民生委員・包括センターのスタッフ等の説明を受け活用できるようにしている。                             | 現在、該当者はいないが、資料やパンフレットを用意し、運営推進会議委員に、成年後見人(行政書士)や地域包括支援センター職員(社会福祉士)がおられるので、会議の中で、説明してもらい、管理者や職員は制度の重要性を理解し、利用者や家族が、制度を必要とする時には、申請手続きの支援が出来る体制がある。 |                   |
| 9  |    | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                                                             | 契約時の事前に自宅または入院先を訪問し、ご家族との情報収集を図り、契約時には重要事項説明書等の細やかな説明を実施しています。                   |                                                                                                                                                   |                   |
| 10 | 7  | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                                         | 本人・ご家族の意見や希望を聞きプランに反映しています。                                                      | 職員は、利用者と日常会話の中から、思いや意向を聴き取り、家族の面会や行事参加、電話等で、利用者の希望や暮らし振り、健康状態等を報告し、家族からは意見や要望、心配事等を聴き取り、ホームの運営や利用者の介護計画に活かせるように取り組んでいる。                           |                   |
| 11 | 8  | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                                                          | 定例会議やカンファレンスを定期的開催し、意見交換の場を作っている。                                                | 職員会議は毎月開催し、管理者は、職員が話しやすい雰囲気を出し、活発な会議になっている。出された意見や要望、アイデア等は、ホーム運営や業務改善に反映出来るように取り組んでいる。また、毎日の申し送り時にも、職員の気付きや心配事を話し合い、早期解決に向けて努力している。              |                   |
| 12 |    | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている                                          | 休日の希望日、介護関係資格の休日、給与基準等の改善を行い、自動車通勤者用の駐車場を施設近隣に確保するなどを実施している。                     |                                                                                                                                                   |                   |
| 13 | 9  | ○人権尊重<br>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している | 年齢・性別等による差別は無く、職員に合った業務を、おり見て適材適所に置き個性を重んじた家庭的な雰囲気作りに努めて研修などの希望を募ってスキル向上を目指している。 | 職員の働きやすい職場を目指し、休憩時間や希望休、勤務体制等に配慮し、管理者は、職員の特長や不得手を把握し、役割分担や配置換えをして、職員が生き生きと働ける就労環境に取り組んでいる。                                                        |                   |
| 14 | 10 | ○人権教育・啓発活動<br>法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる                                                                | 法令遵守や人権問題に関する研修を行っている。                                                           | 代表は常に職員全員に、利用者の人権を守る介護のあり方について説明し、理念を常に意識して介護の提供が出来るように工夫し、利用者が、安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいる。また、職員の人権教育にも力を入れて取り組み、啓発活動に繋げている。                           |                   |

| 自己                 | 外部 | 項 目                                                                                            | 自己評価                                                       | 外部評価 |                   |
|--------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|                    |    |                                                                                                | 実践状況                                                       | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 15                 |    | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 職員の得意分野と個性および、長所・短所の把握をし、利用者さんへの対応やスキルを指導しています。            |      |                   |
| 16                 |    | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 近隣の施設見学等により、意見交換と施設情報の確保をしつつ、サービスの向上に努めています。               |      |                   |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |    |                                                                                                |                                                            |      |                   |
| 17                 |    | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 入居前の施設・病院・自宅を訪問し雰囲気作りの情報、その方の生活での留意点等を把握し、入居時の不安解消に努めています。 |      |                   |
| 18                 |    | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | 上記の通り、入居前での訪問と入居者さんへの面談で家族の希望・本人の嗜好・歴史などの情報によりプランに反映している。  |      |                   |
| 19                 |    | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | ご家族のタイミングや期間設定、密な連絡により孤独感や不安の解消に努めている。                     |      |                   |
| 20                 |    | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | 介護される側・する側の壁を作らないように家庭的な雰囲気作りに努めています。                      |      |                   |
| 21                 |    | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | スタッフの年齢・個性を考え家族の一員として接するように努めています。                         |      |                   |

| 自己                         | 外部 | 項 目                                                                                                     | 自己評価                                                  | 外部評価                                                                                                                                  |                   |
|----------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                            |    |                                                                                                         | 実践状況                                                  | 実践状況                                                                                                                                  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                         | 11 | ○ 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                                       | 利用者さんの親族や友人の訪問時には近況の報告と再度の訪問をお願いし、関係維持に努めています。        | 利用者の友人や、親戚の面会時には、ゆっくり話が出るように配慮し、また、来ていただけるようお願いしている。職員は、利用者と会話しながら、「会いたい人や、行ってみたい所」等を聴き取り、利用者が長年培ってきた、人や場所との関係が、ホーム入居で途切れないように支援している。 |                   |
| 23                         |    | ○ 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                                   | レク・行事・誕生日などの交流を図り、スタッフ・入居者さん同士支え合っています。               |                                                                                                                                       |                   |
| 24                         |    | ○ 関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退所した後のご家族の訪問・相談等に対して支援しています。                          |                                                                                                                                       |                   |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント |    |                                                                                                         |                                                       |                                                                                                                                       |                   |
| 25                         | 12 | ○ 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | 本人さんの動向・生活リズムを把握し、スタッフ全員で情報を共有して支援している。               | 職員は、利用者信頼関係を築き、何でも話せる環境の中で、思いや意向を聴き取り、家族と話し合い、実現出来るように支援している。また、意思の疎通が難しい利用者には、職員が寄り添い、話しかけ、表情や仕草から、利用者の思いや意向に近づけるように努力している。          |                   |
| 26                         |    | ○ これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 利用者さんの生きてきた環境(家族・時代背景・職業)の歴史を把握し、留意点を考えながらプランに反映している。 |                                                                                                                                       |                   |
| 27                         |    | ○ 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | スタッフ全員で、利用者さんの個性・癖・嗜好・身体的・精神的な状況の把握に努めている。            |                                                                                                                                       |                   |
| 28                         | 13 | ○ チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | サービス担当者会議、推進運営委員会、スタッフミーティングにより介護プランの作成に反映しています。      | 利用者や家族と話し合いを持ち、意見や要望を聴き取り、担当者会議や、職員会議の中で、職員全員で話し合い、前回の計画書の内容を分析し、利用者が満足できるように工夫し、介護計画を定期的に作成し、家族の同意も得ている。                             |                   |

| 自己 | 外部 | 項 目                                                                                                                 | 自己評価                                                                      | 外部評価                                                                                                                                                               |                   |
|----|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |    |                                                                                                                     | 実践状況                                                                      | 実践状況                                                                                                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |    | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                                     | 介護記録や定例会議（カンファレンス含む）により意見交換で情報を共有し、介護計画に生かしている。                           |                                                                                                                                                                    |                   |
| 30 |    | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                            | 家庭的な雰囲気大切にしているので、施設と思わせない雰囲気作りをしています。                                     |                                                                                                                                                                    |                   |
| 31 |    | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 利用者さんの一人ひとりの身体・精神的状況を把握し地域の防災や行事への参加によって季節感・歳時を大切に安全安心に努めています。            |                                                                                                                                                                    |                   |
| 32 | 14 | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | かかりつけ医の2週間に1回の往診を実施し、緊急時は在宅医への協力要請体制と救急病院への迅速な紹介等により支援しています。              | 入居前に、利用者や家族と話し合い、馴染みのかかりつけ医と、往診体制が整っている協力医療機関を選択してもらい、かかりつけ医には、ホームの医療添え書を持って、家族の同行をお願いし、利用者の医療情報を共有している。また、2週間毎の往診と毎週訪問の、訪問看護による医療連携体制が整っている。                      |                   |
| 33 |    | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 訪問看護師・看護師による指導・相談を適宜実施し、研修・講演等の依頼を実施しています。                                |                                                                                                                                                                    |                   |
| 34 |    | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入退院時の対応は、送迎と家族との連携により対応、病院との連携により対応、病院との関係は緊急時等の協力体制の充実を図っています。           |                                                                                                                                                                    |                   |
| 35 | 15 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 重度化の利用者さんに関しては、医師・看護師の指導による対応と終末期のご家族と主治医との緊密な情報確認、ご家族の意向を考えて支援に取り組んでいます。 | 代表が看護師であり、常に、看護師と介護職員がチームを組み、利用者の状態変化や重度化に向けた、支援体制が整っているので、利用者や家族は、安心して任せられる環境である。また、ターミナルケアについては、契約時に説明し、利用者の重度化に合わせ、段階的に家族や主治医と話し合い、利用者の重度化に向けた看護、介護の実践に取り組んでいる。 |                   |

| 自己                      | 外部 | 項目                                                                               | 自己評価                                                             | 外部評価                                                                                                                                          |                   |
|-------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                         |    |                                                                                  | 実践状況                                                             | 実践状況                                                                                                                                          | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 36                      |    | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている           | 利用者の急変や事故に対応すべき体制マニュアルによる対応と医師・看護師指導による実践教育と医療機関への迅速な連携を実施しています。 |                                                                                                                                               |                   |
| 37                      | 16 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている           | 消防局指導による防災訓練と防災マニュアルに沿って訓練の実施をしています。                             | 消防署の指導や協力を得て、防災訓練を実施し、通報装置や消火器の使い方を実習し、避難経路、非常口、避難場所を確認し、利用者が安全に避難出来る体制を整えている。また、夜間を想定して、職員の緊急連絡や、ホームまでの駆けつける時間、利用者の見守り等、常に職員間で話し合い非常時に備えている。 |                   |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |    |                                                                                  |                                                                  |                                                                                                                                               |                   |
| 38                      | 17 | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 利用者さんの個性や人格・プライド・プライバシーを尊重し、声かけや介護、介助の支援を行っています。                 | 職員は利用者を経験豊富な人生の先輩として敬愛し、大きな声や、あからさまな介護にならないように注意し、利用者が安心して暮らせるグループホームを目指している。また、利用者の個人記録は、鍵をかけて見えない場所で保管し、職員の守秘義務は、入職時に誓約書を取り、周知が図られている。      |                   |
| 39                      |    | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 利用者さんの希望や悩みを聞き、職員全員で利用者さんが自己決定できるように誘導支援している。                    |                                                                                                                                               |                   |
| 40                      |    | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 家庭的な雰囲気作りに努め、規則よりも、その方のリズムに合わせた生活作りを支援しています。                     |                                                                                                                                               |                   |
| 41                      |    | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 日常の中での季節の変わり目に、ご本人さんの希望の衣服、早めの衣替えの支援や清潔感のある身だしなみの支援をしています。       |                                                                                                                                               |                   |
| 42                      | 18 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている     | 個々の好みを聞き調理法を変えたり、旬の食材を使って季節を感じられるように工夫しています。                     | 職員は、利用者の嗜好を聴きながら、季節毎の料理を提供し、味や彩り、形状に配慮し、利用者の満足に応える食事を、職員と一緒に楽しい談笑の中で行い、利用者の食欲増進に繋げている。                                                        |                   |

| 自己 | 外部 | 項 目                                                                                  | 自己評価                                             | 外部評価                                                                                                                            |                   |
|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |    |                                                                                      | 実践状況                                             | 実践状況                                                                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 |    | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている              | 利用者さんの全身状態の把握と季節による水分量を設定し、その方の習慣も含めて支援しています。    |                                                                                                                                 |                   |
| 44 |    | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                       | 口腔ケアは毎週木曜日に歯科受診と、毎食後・就寝前の口腔ケアを実施しています。           |                                                                                                                                 |                   |
| 45 | 19 | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている       | オムツの利用を出来るだけ減らし、利用者さんのペースで自立への工夫を実施しています。        | トイレでの排泄が、利用者の生きる力に繋がるので、職員は、利用者の排泄パターンや生活習慣を把握し、早めの声掛けや、さりげない誘導で、自立に向けた、トイレでの排泄支援に取り組んでいる。また、オムツの使用は、出来るだけ工夫して、使用量の軽減にも取り組んでいる。 |                   |
| 46 |    | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                       | 食事には消化の良い食物繊維性の物や主治医による指導を受け、便秘解消のために工夫を実施しています。 |                                                                                                                                 |                   |
| 47 | 20 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 利用者さんの希望に沿って入浴を実施しています。                          | 入浴は曜日を決めているが、利用者の希望を優先して、入浴の支援をし、利用者が、入浴を楽しんでもらえるように工夫している。職員は、利用者の健康状態やその日の気分に配慮し、変更したり、足浴や清拭を行う等、無理強いのない入浴の支援に取り組んでいる。        |                   |
| 48 |    | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                        | 利用者さんの睡眠状況を観察し、良眠出来るように支援しています。                  |                                                                                                                                 |                   |
| 49 |    | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                   | 主治医の指導、及び定期的な往診・検診により正確な服薬をしています。                |                                                                                                                                 |                   |

| 自己 | 外部  | 項 目                                                                                                                              | 自己評価                                                                    | 外部評価                                                                                                                                                          |                   |
|----|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |     |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                    | 実践状況                                                                                                                                                          | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |     | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                                                   | 月1回の町内会の茶話会への参加や誕生日会・季節の行事など、嗜好に合わせたメニューを考えて支援しています。                    |                                                                                                                                                               |                   |
| 51 | 2.1 | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                      | 希望があれば、職員との散歩や買い物を支援しています。また、ご家族の希望により宿泊や利用者さんの訪問支援を実施しています。            | 天気の良い日は、利用者の状態を見ながら、散歩や買い物、地域の行事や祭り見物に出掛けたりして、利用者の気分転換に繋げている。また、利用者や家族の希望で、外泊や外出を楽しみ、利用者の生きる力に繋げている。                                                          |                   |
| 52 |     | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | ケースワーカーとの連携で、出納管理をしております。                                               |                                                                                                                                                               |                   |
| 53 |     | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 利用者さんのご家族には、近況報告のお手紙と通信でお知らせを行っています。                                    |                                                                                                                                                               |                   |
| 54 | 2.2 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ハード面では、一般の古民家の改装で、やや狭いですが、ソフト面では庭園・交流・訪問など開放的な空間を作る事で対応しています。           | 民家改造型の室内は家庭的で、日本庭園の中で、テーブルを出して、食事や、おやつを取る等狭いながらも、開放感があり、利用者の穏やかな表情が印象的である。懸案の段差のある浴室を1月に改築することが決まり、利用者が、安全に過ごせる体制を目指している。また、リビングルームは温度や湿度、臭いに注意し、家庭的な共用空間である。 |                   |
| 55 |     | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | 上記の様に、民家改造のホームのため、空間の確保が難しいが、出来るだけ居間を有効に使い、利用者さんは思い思いに過ごして頂くように工夫しています。 |                                                                                                                                                               |                   |
| 56 | 2.3 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 利用者さんが生活していた雰囲気作りに家族と工夫しています。                                           | 利用者が使っていたお気に入りや、馴染みの筆筒やテーブル、家族の写真や、生活用品を持ち込んでもらい、利用者の自宅のような環境にし、安心して暮らせる雰囲気の中で、居心地よく過ごせる居室になっている。                                                             |                   |
| 57 |     | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 出来るだけ、自立して過ごせるように居室は危険物を置かず、過剰な介護をせぬよう心がけています。                          |                                                                                                                                                               |                   |